

Koka TIMES

— 心を磨き、技を極め、夢に挑む —



IoT人材育成のための現場改善教材を使ったインターンシップ

出会い頭の危険警告システムを市街地で実証実験 IoTで現場改善を実践するための教材開発

- 「がまごおりアワード」SNS動画15秒部門で3名入賞
- 東海耐久シリーズ第3戦K-STクラス優勝
- 各センターからのお知らせ
- 2021年度(前期)行事予定表

編集／発行
愛知工科大学
愛知工科大学自動車短期大学
入試広報センター
〒443-0047
愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2
TEL. 0533-68-1135
URL. <https://www.aut.ac.jp/>

信号機の無い交差点でシステム実証実験 出会い頭の危険を警告して事故を防ぐ

情報メディア学科の宇野新太郎教授は、豊田市の自動車部品会社と共同で信号機の無い中小規模の交差点における出会い頭事故を防ぐシステム開発に取り組んでいます。

1月26日(火)から10日間、愛知県高浜市内の信号機が設置されていない小規模交差点において、危険警告システムの実証実験を行いました。

システムは、移動する車や自転車、人をセンサが検知し、カーブミラーに設置した「赤色灯」が点灯して危険を警告します。マイクロ波センサによる検知のため、様々な交差点の形状に対応が可能です。

実証実験では、システムを交差点に設置する前と後で、一時停止する車や自転車、人の動きを記録し、行動分析を行いました。また、交差点へ車や人が接近する距

離を「赤色灯」の点滅速度で知らせることも可能としています。

内閣府の2020年度版交通白書によると、2019年中の交通事故発生件数は381,237件。事故類型別では、追突に次いで出会い頭の衝突が多く、96,104件(交通事故の25.2%)となっています。

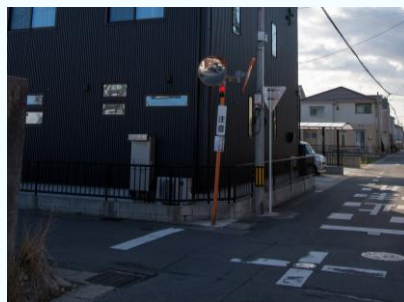
出会い頭事故が多いのは、市街地の中小規模以下の信号機が設置されていない交差点です。建物による見通し不良のほか、「止まれ」の標識を守らずに交差点へ進入して事故が起こるケースが考えられます。

今後、分析結果を活用して効果が実証できれば、2年後の実用化を目指しています。

現在の自動運転技術は、高速道路の同一車線で60Km/h以下で走行していることを条件にレベル3(ハンドルから手を放

してシステムに運転を任せる)自動運転が可能です。しかし、信号機の無い中小規模交差点をスムーズに走行するには、車に搭載されたカメラやセンサによるセンシングだけでは難しいと考えられます。

この研究は、近距離無線や光の点滅により道路環境から車へ情報を伝える技術も想定しており、今後、自動運転技術の発展につながる取組みとして期待されます。



実証実験中の交差点(高浜市内)

みるみるペットボトルが集まる IoT機能を組み込んだゴミ箱を提案

工学部3年次後期の共通科目「プロダクトデザイン」では、月曜日3限目と木曜日1限目の履修クラスがそれぞれチームを組み、講義の最終課題として「みるみるペットボトルが集まるIoTゴミ箱」の企画、製作、プロモーションを行いました。

今回の製作における条件は3つ。①ユーザーは本学の学生、②IoTの要素を入れる、③SDGs12.14.※の要素を入れること。各チームでアイデアをまとめ、ユーザー像の分析、企画、デザイン、製作、プレゼンテーションを分担し、課題に取り組みました。

月曜日チームの製品名「ecomi(エコミ)」のコンセプトは、センサによるゴミの量の把握、声を発する(「ゴミを捨ててね」「ありがとう」など)、ペットボトルとキャップを仕分けること。デザイン部分は形にできませんでしたが、ペットボトルとキャップを自動分別する機構は、工学部の学生らしいアイデアで解決しました。

また、木曜日チームの製品名「COLaR(コーラル)」のコンセプトは、分別意識を高めること。このためペットボトルとキャップの投入口は別々にデザインして、

キャップを捨てるとおみくじが引ける仕組みにしました。ラズベリーパイ(コンピュータ)とセンサを使い、画面に占い結果を表示させる工夫をしました。

1月26日(火)~29日(金)、学生ホール内にプロトタイプモデルが展示され、本学の学生に使ってもらいました。

課題報告書には「実際に製作することで、工程の大変さを体感した」「チーム内でのコミュニケーションが重要」「データを整理しての統計や相関は、主張の説得力が増す」という考察がされています。

※SDGs

Sustainable Development Goalsの略称(持続可能な開発目標)
今回の課題では、17の目標の内、12.と14.の要素を取り入れることを条件としました。

SDGs 12. つくる責任、つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する

SDGs 14. 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



月曜チーム「ecomi(エコミ)」



木曜チーム「COLaR(コーラル)」

実践的なIoT技術を習得する IoT機器を組み込んだ現場改善教材を開発

地元幸田町からの受託研究により、幸田ものづくり研究センターの協力を得て「IoT人材育成のための現場改善教材(仮想工場と呼ぶ)」を開発しました。

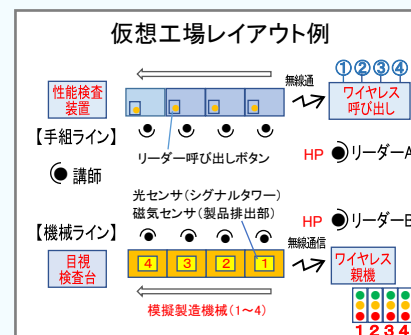
IoTモノづくり工房に設置されたこの教材は、模擬製造機械4台からなる「機械ライン」と、4つの作業台からなる「手組ライン」で構成され、実際の工場における製造ラインを模しています。

機械ラインの模擬製造機械は、加工された製品に見立てたビー玉が一つずつ排出され、加工時間の設定(モーターのスピードを可変)ができるほか、シグナルタワーが緑色(正常時)、黄色(部品が無い)、赤色(停止)に点灯して稼働状況を知らせます。さらに、離れた親機が稼働状況を受信してタイムスタンプ(稼働状況記録)を保存します。

手組ラインは、それぞれの作業台にリーダー呼び出しボタンが設置され、ボタンを押すと無線を通して、離れた親機のランプが点灯してブザーが鳴動します。

この教材に人を配置して模擬作業をすることで、トヨタ生産方式に基づく現場作業を体験できます。また、「IoT実践実習」(IoTモノづくりコース3年次)では、センサやマイコン、通信機器などを自由に組み込んで、機械や人のデータ取得や、インターネットを利用して外部から分析するなど、様々なアイデアを組み込んだIoT技術を活用した実習が可能です。

今後、大学における授業のほか、幸田ものづくり研究センターが主催するセミナー等において、IoTを活用した現場改善が推進できる企業人材の育成に活かされます。



機械ライン

手組ライン

全日本シングルハンドレガッタ レーザーラジアルクラスで総合4位

11月28日(土)、29日(日)、愛知県蒲郡市・豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖で開催された「全日本シングルハンドレガッタ」にヨット部4年濱田芳樹さんが出場し、総合4位となりました。

出場した競技種目は、艇長4m23cmの1枚帆ヨットで一人乗りのレーザーラジアルクラスです。全国から選抜された10艇で、1日目に4レース、2日目に2レースが行われ総合順位を競いました。

レース1日目は時折12m/sを超える

突風が吹くコンディション。第1~3レースの着順は5着、4着、4着と上位をキープ。しかし、第4レースではマーク付近で方向を変える際に突風にあおられて没し、体力が尽きてリタイアに。この日は暫定4位でした。

レース2日目、前日の強い風が落ち着いた第5レースは5着。最終の第6レースは強まった風を上手くつかみ、2着と大健闘。結果、総合順位で今年の12位を大きく上回る4位となりました。

大会当日、ヨット部集合写真
中央が濱田さん

1級自動車整備士養成課程3年生 企業から最新の技術やサービスを学ぶ

○スズキCS講習会

10月29日(木)、11月5日(木)、11月12日(木)に(株)スズキ自販東海、(株)スズキ自販中部、愛知スズキ販売(株)の協力を得て、お客様の出迎え方や話の聞き方や車両の扱い方など、実際に現場で働くサービススタッフからの講義で、顧客満足度の向上について理解を深めました。

○メルセデス・ベンツ講習会

11月17日(火)、メルセデス・ベンツ日本(株)、(株)ヤナセ名古屋営業本部、岐阜ヤナセ(株)、豊橋ヤナセ(株)の協力を得て、メルセデス・ベンツの歴史や故障診断機を使った診断実習、最新技術の説明を受けました。学生は普段あまり見ることがない高級車に触れ、積極的に質問をしていました。

○マクラーレン技術講習会

11月27日(金)、八光自動車工業(株)の協力を得て実施した講習会は、V8 4.0L ツインスクロールターボチャージャーエンジンを搭載したマクラーレン 720S Spiderを使った最新技術の紹介と整備の実演、点検・整備で心がけることなどの興味深々な様子で説明を受けていました。

蒲郡の魅力を発信

SNS 動画 15 秒部門に 3 名が入賞

「映像制作技術」を受講する情報メディア学科2年の福井楓さん、林寛耶さん、大橋凌介さんの作品が「がまごおりアワード」の「SNS 動画 15 秒部門」で入賞しました。

この講義は、学内のコンテンツ制作スタジオで企画・撮影・編集の方法を学びますが、講義をサポートする尾林史章研究員が、社会に役立つ映像制作を实践する場として、受講する79名全員にアワードへの応募を勧めたものです。

「がまごおりアワード」は蒲郡市とメ〜テレ(名古屋テレビ放送)が、蒲郡市の魅力を伝える動画や写真を募集。入賞した3名の作品はメ〜テレ「アップ!」内のCMとして放送されました。

受賞作品について、講義を担当した情報メディア学科の尾関智恵准教授は、次のように評価しました。

【福井楓さんの作品】

ラグーナテンボスのナイトショーの魅力が15秒に凝縮されている。ディゾールブ(映像がダブリながらカットが変わる)効果にも配慮しているところが良かった。



福井さんの作品の一コマ

【林寛耶さんの作品】

蒲郡といえば、花火大会の正三尺玉が有名。その華やかなイメージの中にコロナ禍で中止となった儚さと寂しさがうまく表現されている。モノクローム表現の入れ方、タイミングの良さが際立っている。



林さんの作品の一コマ

【大橋凌介さんの作品】

短時間で狙ったストーリーと世界観が両立されている点が良い。画面に表示されるテロップも素材探しからこだわって制作されている。



大橋さんの作品の一コマ

受賞作品以外にも、蒲郡の良さが伝わるアイデアが詰まった作品ばかりでした。

東海耐久シリーズ 2020

第3戦 K-ST クラス優勝

東海耐久シリーズ2020第3戦が9月27日(日)にスバ西浦モーターパークで開催され、K-ST(学生対抗選手権)クラスで本学の「DXLアルト1号」が優勝、「DXLアルト2号」準優勝を獲得しました。

予選では、同レギュレーションのK-NNクラスの車両と合わせて予選1位、2位のタイムを記録。決勝はGT(普通車)、K(軽自動車)合わせて35台が混走で行われ、他車両のコースアウトや横転によるセーフティカー導入が頻発する荒れたレース展開となりました。

そのような中でも本学の2台は大きな

接触やトラブルもなく周回を重ね、メカニックの迅速な作業でピットストップ時間を短縮しました。

今年度のチームは初めてドライバーを務めるメンバーが多かったため、サーキットでの練習不足に不安がありましたが、今夏から導入した「グランツーリスモSPORT(ドライビングシミュレータ)」による練習、従来から続けているデータロガーの解析と車載動画の分析により、全ドライバーともテクニックの向上を図りました。また、工学部機械システム工学科1級自動車整備士養成課程の4年生から短期大学



⑫DXLアルト2号 ⑬DXLアルト1号

1年生まで年代幅が広いチームでしたが、レースへの意気込みがチームを一つにまとめ、ワンツーフイニッシュに繋がりました。

学生たちは、普段の自動車整備実習とは異なる貴重な経験を得ることができたと思います。

学内企業説明会

愛知工科大学技術後援会「愛技会」の会員企業による学内企業説明会(整備職)を本学の体育館で開催しました。

新型コロナウイルス感染防止対策として、参加企業130社を12月3日(木)の午後と、12月4日(金)の午前・午後の3回に分け、企業担当者は1名に限定。フェイス

シールドとマスク着用での説明をお願いしました。さらに学生は事前に訪問先を3社選び、説明時間を30分としました。

コロナ禍で不安を抱える学生が多い中、企業担当者から直接話を聞く機会を得て、就職活動の一步を踏み出せたようです。





INFORMATION

お知らせ

学務課

○コロナ禍の授業

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、2020年度は4月から5月を「自宅学習期間」として、郵送した教材や遠隔等で授業を進めました。

5月末の2週間程度は、6月以降の通常授業の再開に向けた慣らし期間として週1回の登校を実施しました。

6月からの通常授業は、「三密」を回避し隣接する2教室をリモート接続しての授業や常時換気など、感染リスクの低減を進めながら、学生への教育の責務を果たすために対面授業を実施しました。

新型コロナウイルスには、工学部で3名、短大で1名の感染者がありました。

いずれも学内での感染ではありませんでした。これも、ひとえに学生の皆さん一人ひとりの感染対策によるものと感謝するとともに、コロナ禍において、大学として教育の責務を果たせたことに安堵しています。

来年度は普通に学生生活が過ごせることを願っています。

○車両通学の厳格化と交通安全意識の醸成

車両通学希望者に対する交通安全講話、運転適性検査、車両検査を9月に実施しました。

今年度から車両検査等に合格しない

者の車両通学を禁止し、規則に沿って厳格に対処するため、学生駐車場入り口にゲートを設置しました。

また、地元の事故防止や犯罪抑止の一助となるよう、本学教職員が、9月から月2回のペースで青色防犯パトロール活動に取り組んでいます。

これらの活動等を通し、より一層学生の交通安全意識が醸成されることを期待しています。

○教育懇談会について

2021年度の教育懇談会は、下記の通り開催を予定しています。

2021年度
教育懇談会開催予定

地区	開催地	日程	地区	開催地	日程
甲信越 北陸	富山県 富山市	7月10日(土)	東海	静岡県 静岡市	7月10日(土)
	石川県 金沢市	7月10日(土)		静岡県 浜松市	7月11日(日)
	福井県 福井市	7月11日(日)	沖縄	沖縄県 石垣市	7月10日(土)
	長野県 松本市	7月10日(土)		沖縄県 宮古島市	7月10日(土)
	長野県 飯田市	7月11日(日)		沖縄県 那覇市	7月11日(日)
東海	岐阜県 高山市	7月11日(日)	本学	愛知県 蒲郡市	9月30日(木) 10月13日(水)
	三重県 伊勢市	7月10日(土)			

事務局

○2つの研究所を開設

4月より、2つの研究所が新設されます。1つは、先進バーチャリアリティ研究所です。この研究所は、自宅に居ながら遠隔地に居るのと同様以上の効果を発揮する次世代のバーチャリアリティを実現するための要素技術を研究開発するとともに、その成果を医療、交通、防災、教育等に応用、社会に広く貢献することを目的としています。

2つ目は、未来材料科学研究所で、材料科学に基礎を置く研究者らにより分野

横断的な研究を展開することで、低炭素化・脱炭素化社会の実現に寄与しうる新たな素材の研究開発を行うとともに、その成果を広く社会に還元することを目的としています。

○スクールバスの増便について

朝と昼の混雑を解消するため、2021年4月より、蒲郡駅南口と大学発のスクールバスを増便します。

スクールバスの時刻表は、ホームページでご確認ください。

○オゾン除菌脱臭器の設置

4月より、新型コロナウイルス感染防止対策として、学生食堂と学生ホールにオゾン脱臭器を設置します。

○学習支援室の設置

短期大学は、2021年4月入学者より整備士養成コースとメーカー・大学編入コースを設定します。それに伴いメーカー・大学編入コース受講者の受験勉強の拠点となる自学自習ができる支援室を設置します。

図書館

○電子書籍の導入

10月から電子書籍を導入しました。電子書籍の利用登録をすると、自宅や外出先から図書館の電子書籍をダウンロードして好きな時に読むことができます。第一弾として就職活動に必要なSPI関連の電

子書籍が利用できます。就活生は積極的に活用してください。また、現在紙媒体で図書館に蔵書のある書籍も、電子書籍のリクエスト申請を受け付けます。

○4月から図書貸出規程が変わります
4月より返却日を延滞すると、延滞し

た日数分新たに図書を貸出することができなくなります。また、延滞するとGmailにお知らせが届くようになります。図書館の規程の変更や、利用方法については図書館ホームページやガイダンス等で案内していきます。

メディア基盤センター

4月から学内ネットワーク利用の申請方法が変更になります。これまでは、メディア基盤センターで書類を記入して学生証の提示が必須でした。今後は、有線または無線へ接続後に学内のホームページ上から利用する端末の登録、変更、削除が可能になります。登録したい

ノートパソコン、携帯電話から申請用URLへアクセスすると申請ページが表示されます。必要な情報を入力して登録が完了すると学内の各種サービスに接続できます。最新の携帯電話では、端末を識別するMACアドレスがランダムに変更される機能があります。申請用の無線アク

セスポイントへ接続する際にMACアドレスが端末固有となるように設定してください。詳しい申請方法は、メディア基盤センター内の掲示板をご覧ください。

- ・無線接続先：aut-auth
- ・申請URL：<https://aut.auth/user/>

総合教育センター

総合教育センターは、基礎教育や初年次教育など共通教育の核となり、各学科、各センター、学務課と連携して学習支援活動を行っています。

工学部新入生は4月にプレースメントテストを行い、自分に最も適したクラスで学習し、意欲、人間性、能力を最大限に

伸ばせるようクラス編成を行います。また、上級生に対してはアチーブメントテストを実施し、自身の知識向上と定着を図っています。

さらに、大学での学びを円滑に進めるため、個別指導とオフィスアワーによる課外学習支援を行っています。

新型コロナウイルス感染防止対策として、センター入口にアルコール消毒を設置し、学修支援も個別に仕切られたスペースで安心して利用ができます。一人ひとりの学力レベルや目標に応じて、基礎科目を納得いくまで指導します。積極的に活用し、学力の向上に役立ててください。

ものづくり工作センター

当センターでは、昨年から猛威を振るう新型コロナウイルスの感染から、学生や教職員を守るため、他部署と連携し、早急な対策を進めています。

右の写真は、センター所属の技術者である深谷先生が設計製作した、会話中の飛沫拡散防止シールドです。この飛沫シールドは、キャリアセンターに設置され、

進路相談に訪れる学生と担当職員が、安心・安全に会話ができるよう、大きく貢献しています。

コロナ禍においては、飛沫シールドを外発発注すると数ヵ月掛かりますが、当センターでは、最適なサイズのシールド4台を1週間で完成させ、感染防止対策に一役買っています。



キャリアセンター

近年はオンラインを利用した就職活動が主流となり、特に2020年度は新型コロナウイルス感染症対策により、こういった動きが加速されてきたようです。

本学においても学生のスマートフォンから求人情報検索やインターンシップ参加のエントリー等ができる「AUTキャリアナビ」を運用しています。過去の先輩たち

の活動報告も閲覧できますので、積極的な活用が望まれます。

また、企業から大学に届く会社説明会情報や大学での就活イベント、本学の学生採用に積極的な企業情報などを専用のアプリを通して情報提供する「就活アプリ」も運用しています。

今後、学内において個別の企業説明会

が開催される折にも、この就活アプリ等を活用して学生の皆さんへ直接情報をお届けします。

Webやオンラインを利用した就職活動は今後ますます増える傾向です。キャリアセンターでは、これらに対応すべく学生の皆さんの就活を応援していきます。

研究室訪問

— 情報メディア学科 尾関研究室 —

尾関研究室は、インタラクションについて研究しています。インタラクションとはやり取りのことです。誰か(もしくは何か)と関わることで「人」の意思決定や行動は影響を受けることが分かっています。Human-Agent Interaction (HAI) もしくは Human-Robot Interaction (HRI) は「人」と命を持たない「エージェント」や「ロボット」がどんな「やりとり」で信頼関係を結ぶかを調べる研究領域です。スマートフォンのデザインやペトロロボットなど、技術と人がより良く接するよう活用されています。また「人」がより賢くなるために「他者」や「資源」との関わり方も調べ、教育や学習で活用する教育工学についても取り組まれます。以下に代表的な研究をご紹介します。

1) エージェントと向社会的行動(協力・互助・慈善)

インターネットを通じて寄付を募ったり、クラウドファンディングなど事業を見知らぬ人に応援してもらう機会が増加しています。アフターコロナの世界ではこういった助け合いの動きが盛んになってくると考えられます。人の善意を集約する仕組みを構築するには悪質な不正行為を防ぎ、誰もが公正に納得して寄付行動を行えることを保証するシステムが必要です。本研究では、その橋渡し役とし安心して活用できる人工エージェントの設計を目指しています。例えば図1のような大型エージェントはロボット型エージェントよりも親しみやすさを向上させ、協力を促す要因をもっていることがわかっています[1]。このような無意識に働く影響を考慮し、適切なインタラクションを促進できるよう、心理学・社会学・認知科学の観点による基礎調査・実験を行っています。

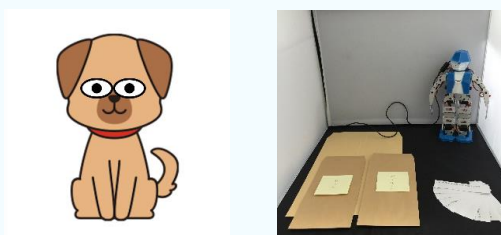


図1 エージェントを用いた寄付行動の実験風景

2) コミュニケーションロボットによる服薬支援

ロボット技術が身近になり、生活の中でも便利に利用できるようになってきました。本研究室では人の気持ちを支える一つの方法として、コミュニケーションロボットを用いた服薬支援システムについて提案・構築を進めています[2]。長期的に服薬するのは通常でも根気がいる治療ですが、周囲の励ましや本人のモチベーションを維持するには他者との関わり合いが欠かせません。従来は訪問看護に頼っていたのですが、コロナ禍で支援方法にも大きな変化が求められています。こういった問題解決にロボットとのインタラクションが効果的か、安心安全が求められる医療現場で調査を行っています(図2)。

Profile

尾関 智恵
准教授・博士(工学)

[専門] 認知科学・教育学・
情報科学

[経歴] 岐阜大学・中京大学
岡崎女子短期大学 他
富士通ラーニングメディア



図2 服薬支援ロボットのための施設調査

3) 工学系人材育成のための学習科学研究

人の賢さの特性をとらえ、効果的な学びのデザインを行う研究領域「学習科学」の知見を基にした工学系人材育成プログラムの開発と実践を行っています[3]。ICT利用が一般化された昨今、インターネット利用だけでなく静止画・動画・音声・2D/3D・VRなど様々な情報技術を活用した教育コンテンツ制作と実践が重要となってきます。本研究室では、単なる技術の利用ではなく、狙ったスキル向上に適した学習方法を提案できるよう、学びのデザインとその品質向上のための研究を進めています(図3)。



図3 AR技術を活用した学習活動風景

- [1] Ozeki, T., Terada, K., & Hayamizu, S. (2020). Effects of an Agent's Eye Movement and the Type of Agents on Donation Behavior in Japanese and US Culture. International Conference on Graphics and Interaction 2019. 116.
- [2] Ozeki, T., Mouri, T., Sugiura, H., Yano, Y., & Miyosawa, K. (2020). Use of communication robots to converse with people suffering from schizophrenia. ROBOMECH Journal, 7(1), 1-14.
- [3] Ozeki, T., Okumura, Y., & Mouri, T. (2020). Attempt to Extract Lacking Information on University Campus by AR Content Production Activities. IEEE TALE 2020: International Conference on Engineering, Technology and Education, Work-in-Progress Paper for Poster Presentation 167

2021年度(前期)行事予定表(4月~9月)

※学内における諸事情などにより、予定を変更することがあります。

大学

月	行事	日程
4月	入学式	2日(金)
	オリエンテーション	2日(金)~8日(木)
	健康診断	6日(火)~7日(水)
	履修登録	6日(火)~7日(水)
	編入学者認定申請	7日(水)
	通学車両検査(1年を除く)	10日(土)
	学修奨学金授与式	16日(金)
5月		
6月		
7月	教育懇談会(静岡・松本・富山・金沢・伊勢・石垣・宮古島)	10日(土)
	教育懇談会(浜松・飯田・高山・福井・那覇)	11日(日)
8月	定期試験	2日(月)~9日(月)
	学生夏期休業	12日(木)~
9月	1級課程 オリエンテーション・履修登録	2日(木)
	オリエンテーション・履修登録	13日(月)~15日(水)

短期大学

月	行事	日程
4月	入学式	2日(金)
	オリエンテーション(1年)	5日(月)、6日(火)
	オリエンテーション(2年)	6日(火)
	2年 就職活動調査	6日(火)
	健康診断・実習ガイダンス	7日(水)
	通学車両検査(1年を除く)	10日(土)
	学修奨学金授与式	16日(金)
5月	大学編入学説明会	10日(月)
6月	就職活動調査(2年)	18日(金)
7月	教育懇談会(静岡・松本・富山・金沢・伊勢・石垣・宮古島)	10日(土)
	教育懇談会(浜松・飯田・高山・福井・那覇)	11日(日)
	定期試験	23日(金)~29日(木)
8月	成績発表・選択科目履修登録	3日(火)
	学生夏期休業	12日(木)~
9月	オリエンテーション(2年)	2日(木)
	ビジネスマナー講演会(2年)	2日(木)
	就職活動調査(2年)	2日(木)
	オリエンテーション(1年)	16日(木)
	総合就職実力模試(1年)	16日(木)
	就職ガイダンス(1年)	21日(火)
	自動車メーカー講演会(1年)	27日(月)~29日(水)

大学院

月	行事	日程
4月	入学式	2日(金)
	オリエンテーション(1年)	2日(金)
	健康診断	6日(火)
	オリエンテーション(2年)	8日(木)
	履修登録	8日(木)
	通学車両検査	10日(土)
5月	博士前期課程 履修・研究計画書提出	28日(金)
	博士後期課程 研究計画書提出	28日(金)
8月	学生夏期休業	12日(木)~
9月	オリエンテーション・履修登録	7日(火)

※大学と同じ日程で教育懇談会を開催します。

主に受験生を対象とした行事

月	行事	日程
5月	オープンキャンパス(短期大学)	15日(土)
		29日(土)
6月	オープンキャンパス(短期大学)	19日(土)
7月	オープンキャンパス(短期大学)	17日(土)
	オープンキャンパス(大学)	22日(木・祝)
	オープンキャンパス(短期大学)	31日(土)
8月	オープンキャンパス(大学)	1日(日)
	オープンキャンパス(短期大学)	7日(土)
	オープンキャンパス(短期大学)	21日(土)
	オープンキャンパス(大学)	22日(日)
9月	オープンキャンパス(大学)	28日(土)
	オープンキャンパス(大学)	4日(土)